

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人一人の児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子供たちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・(数学)／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。(英語・理科は、3年に1度の調査となります。)

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子供たちの姿

- ・国語は、全国と比べてほぼ同程度の平均正答率となっています。目的に応じてスピーチの内容の構成を考えたり、目的や意図に応じた資料を使って話したりする「話すこと・聞くこと」の領域については、全国平均を大きく上回り日頃からの継続した取組の成果がみられます。一方で、漢字の読み書きについては、全国平均を下回り、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題があります。
- ・算数は、全国と比べて高い平均正答率を示しています。特に、「図形」や「数と計算」の領域において、全国平均を上回っています。三角形や平行四辺形の面積の求め方を活用して課題を解いたり、数量の関係を捉えて除法の式に表して計算したりすることができています。しかし、棒グラフを活用して割合を求める問題など「データの活用」については、比較的、平均正答率が低くなっています。

■質問紙調査からみえる本校の子供たちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
どの質問についても全国の値に比して、よい傾向が認められます。特に、「将来の夢や目標をもっている」「自分で計画を立てて勉強をしている」「ICT 機器を使用して授業をしている」等について、とても高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
全国平均よりはよい傾向ですが、「一日3時間以上テレビゲーム等を行っている」「一日あたりの読書量が10分より少ない」とした子供がいることが課題です。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・校内研究の成果を生かし、何をどのように、何のために学ぶのか「学習のめあて」を明確にした授業展開を心がけ、子供たちが目標をもって学習に取り組むことができるように努めます。また、GIGA スクール構想に基づき、授業の中に ICT 機器の活用をこれまで以上に取り入れていきます。子供たちの興味関心を高めながら誰一人取り残すことのない学習指導を行っていきます。
- ・国語の学習では、漢字学習などドリル学習を行い基礎基本の定着を図ります。文章作りにおいて、習った漢字を積極的に使うことができるように指導していきます。
- ・算数については、グラフの読み取り方などについて、朝学習やモジュールの時間に復習を行い、データを活用した課題解決能力の伸長を目指します。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・今後、ICT 機器を活用した家庭学習の機会が増えていきます。情報モラルを守り、安全に活用していくことができるように声かけをお願いします。
- ・家庭での時間の使い方について、動画視聴やゲームを行う時間が多くなっていないか、学習の時間だけでなく、読書等に親しむ時間は確保できているか等、常に見守り、改善点のアドバイスををお願いします。